

夏に流行する感染症があります！6月半ばから、この感染症でお休みや早退をするお子さんが目立ってきました。子どもの場合、発熱・目の充血などの症状が出ていても、自ら訴えることは少なく、大人が早目に気付く必要があります。

保育園ではシャワー・水遊びが始まり、感染しやすい機会も増えました。登園前には、体に変化がないか、お子さんと一緒に体調確認の時間を持つことを習慣にしていきましょう。



◆ヘルパンギーナ

潜伏期間：2～4日

発熱、のどの痛み、口内に水疱性発疹

◆手足口病

潜伏期間：2～5日

発熱、口や喉の痛み、手や足の発疹、水疱、口内炎

◆咽頭結膜熱（プール熱）

潜伏期間：5～7日

発熱、頭痛、食欲不振、のどの痛み、結膜炎・眼痛

近年は、インフルエンザが夏に流行することもある。夏も感染対策の基本・うがいと手洗いを忘れずに！！

三大感染症は、夏風邪とも呼ばれ、「夏に流行するウイルス感染症」の総称です。どれもウイルス性で、子どもと子どもの間だけではなく、基本的に子どもから大人にも普通にうつります。

【感染経路として】

- ・ 咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染
- ・ 鼻水・よだれ・うんちがついた手や物からの接触感染
- ・ 手についたウイルスが口に入る経口感染 特にお世話をする保護者は、距離が近く、抱っこ、オムツ替えなどで接触が多いため、うつりやすい立場になります。ご注意ください。